

【単元名】

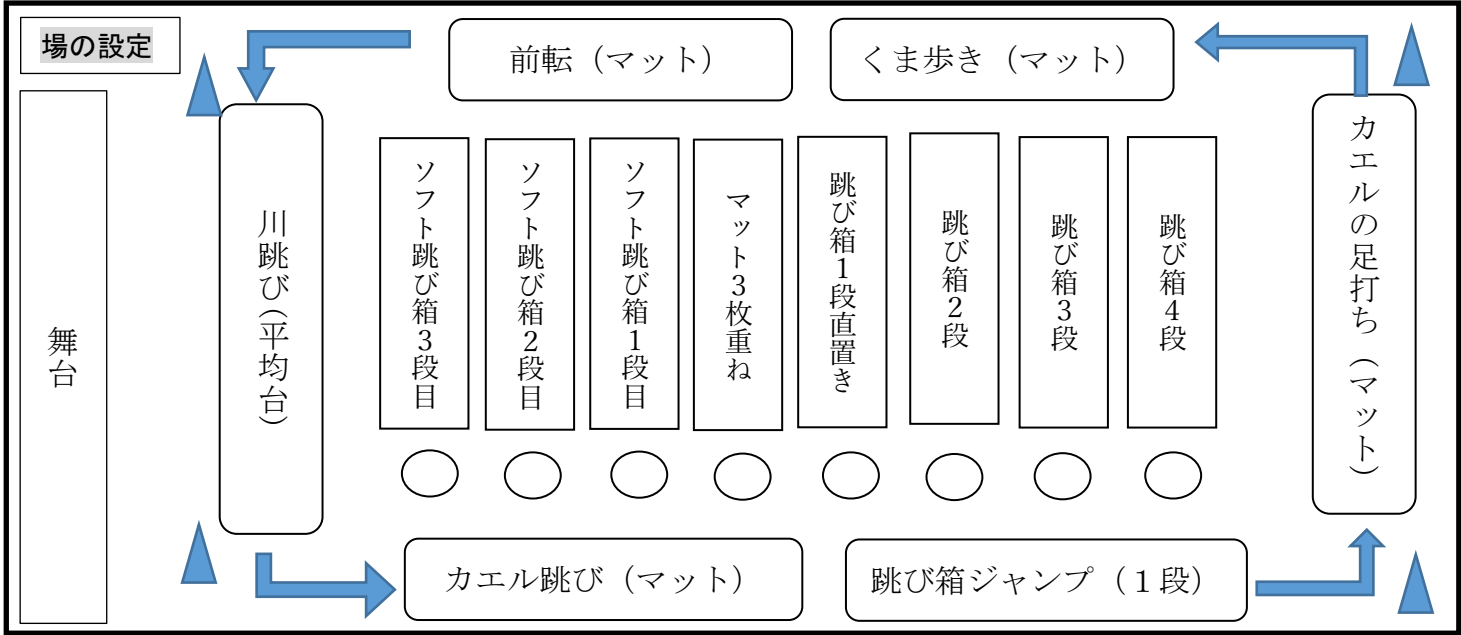
跳び箱運動（全7時間）

【単元目標】

○行い方を知るとともに、自己の能力に適した切り返し系や回転系の基本的な技をすることができるようにする。（知識・技能）

○運動の自己の能力に適した課題を見付け、技ができるようになるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。（思考力・判断力・表現力）

○跳び箱運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができるようにする。（学びに向かう力、人間性）



【指導計画】（裏面あり）

【本時の目標】（4／7時）

【本時の評価規準】

・自分の課題を見つけてできるようになるための場を選ぶことができる。

・技のポイントに関して気付いたことを友達に伝えることができる。

【東戸山小授業を観る視点】

○授業内における教師の役割分担や児童同士の学び合いの場の工夫が効果的であるかどうか。

○交流及び共同学習を行った成果と課題はどのような点か。

学習過程		導入	展開	まとめ
学習活動		台上前転に挑戦しよう。		
		○整列・挨拶・服装確認 ○学習の流れとめあての確認・安全確認 ○準備運動 ○場の準備	○感覚作りの運動（サーキット） ○アドバイスタイム ・互いに見合い、できているポイントとできていないポイントを伝える。 ○スキルアップタイム ・自分の課題に合わせて場を選び、繰り返し練習を行う。 ・跳び箱4段で台上前転で着地までできた児童は、名人として友達にアドバイスをする。	○整理運動 ○振り返り ・発表する ○整列・あいさつ ○片付け ・安全に気を付けて、協力して片付ける。
	時間	10分	30分	5分
	・指導上の留意 ☆評価方法（観点）	・台上前転のポイントは壁に掲示して、確認できるようにする。	・技が終わった人が次の人にアドバイスする。 ・繰り返し練習する。 ・アドバイスのポイント手元のカードで確認できるようにする。 ☆技のポイントについて助言している。（観察）	・安全に気を付けて片付けをすることができる。
教員の動き	T1	全体指導	全体指導	全体指導
	T2	支援	観察・支援	支援
	T3	教具準備・支援	観察・支援	教具整理・支援

【指導計画】

次	(7 時数) ◎本時
1	・ 場の準備の方法や学習中のきまりが分かる。 ・ 支持をして跳び乗り，跳び下りで安定した着地の仕方が分かる。
2	・ 横跳び越しのポイントや行い方を知る。 ・ 腰を高く上げた横跳び越しのポイントが分かり，その技ができる。
3	・ 切り返した横跳び越しの行い方を知り，かかえこみ跳びみにつながる運動をする。 ・ 開脚跳びのポイントや行い方を知り，その技ができる。
4 ◎	・ 台上前転の行い方を知り，台上前転つながる運動をする。 ・ 台上前転のポイントや行い方を知り，その技ができる。
5	・ これまで学習してきたことを繰り返し練習し，技の練度を高める。 ・ やかかえ込み跳びのポイントや行い方を知り，を確かめ合ったりする。
6	・ 発表する技を選び，友達に見て欲しいポイントを伝え，試技を行う。
7	・ 身に付けた技を発表する。